

立野ダムの歴史を振り返る

追跡レポート

立野ダム 対策特別委員会

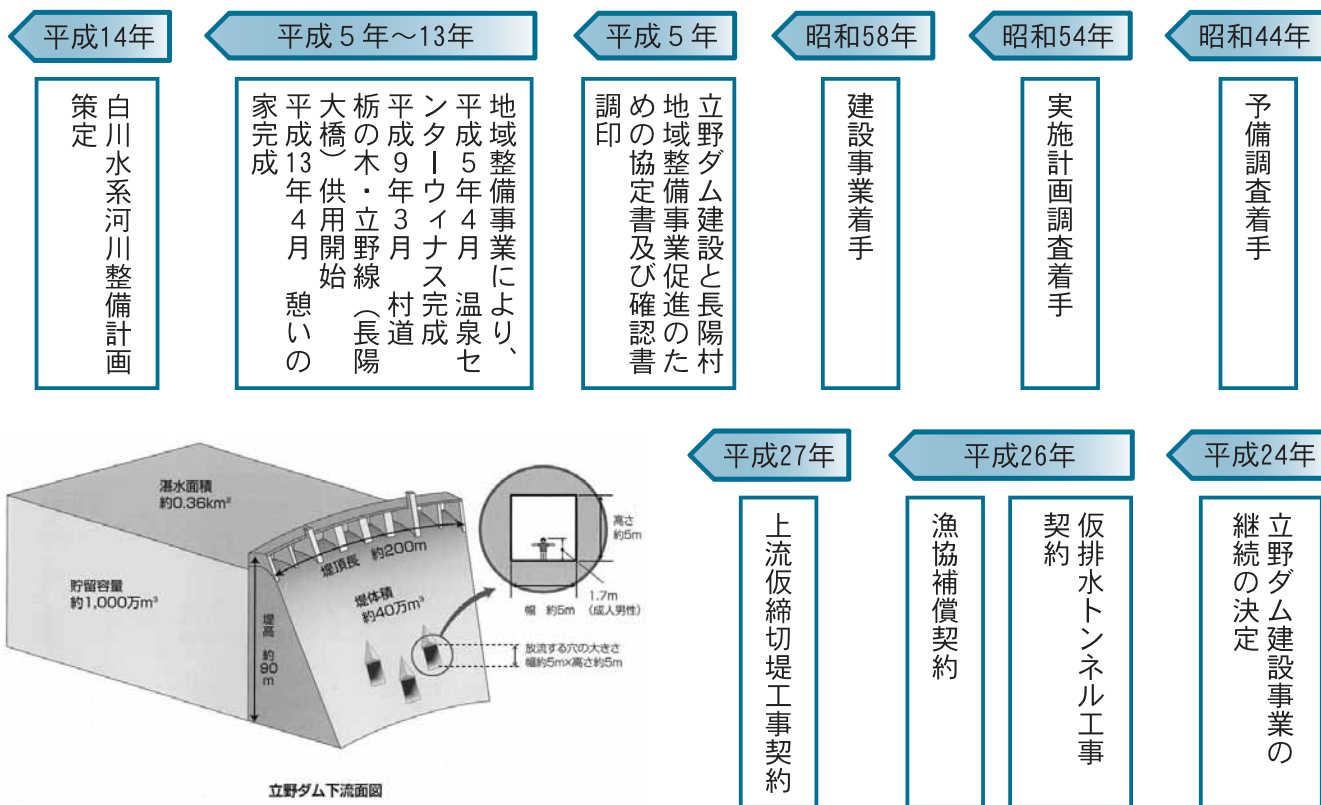
平成29年7月14日
委員5名、正副議長、村
長、役場職員7名

現地で仮設ヤード、本体予定地周辺、また村道栃木立野線の復旧状況をあわせて視察。その後、ダム工事事務所に移動し本体工事の進捗状況を確認。特にダム機能維持（流木の放流孔に対する影響の確認）については、動画を使って詳細な説明を受けた。

29年度事業計画は本体工事を含め48・4億円が計上され、大きく前進した。また、建設課より地域整備計画について、総事業32件（約100億円）のうち16件が完了、中止2件、残事業の見直しを進めると説明を受けた。



立野ダム建設事業の経緯



立野ダムの概要

位置	左岸：熊本県菊池郡大津町大字外牧地先 ^{ほかもき}		
	右岸：熊本県阿蘇郡南阿蘇大字立野地先		
河川名	白川水系白川	堤高（高さ）	約90m
ダム名	立野ダム	堤頂長（長さ）	約200m
型式	曲線重力式コンクリートダム	堤体積（減勢工を含む）	約40万m ³
集水面積	約383km ²	天端高	標高282.0m
湛水面積	約0.36km ²	洪水時最高水位	標高276.0m
貯留容量	約1,000万m ³	計画堆砂量	約60万m ³